

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和6年度）

法人名	社会福祉法人 壺中会	代表者	河田 孝美	法人・事業所 の特徴	・自身で出来る事は行って頂き出来る限り自宅での生活が継続出来るように支援致します。 ・看護師による通院介助にて病状を把握、職員に周知し病状にあった支援を致します。 ・全職員が利用者一人一人の特性を把握し個人の思いや希望を叶えるよう努力します。 ・地域の中で安心して快適な在宅生活できるよう地域の力を繋ぎ結び付け地域の人と共に支えます。
事業所名	サテライト型小規模多機能 型居宅介護事業所 アサガオ	管理者	野崎 沙紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	目標達成出来るように苦手な部分の洗い出しをしていき不安要素を1個ずつ潰していく。	苦手な部分の話し合いは徹底的に行っているが中々潰していけない。ただ気付くことが増えてきており話の内容も濃くなってきている。	目標達成の為に個人・施設などその都度自己評価を行えていると思います。	個々が事業所目標・個人目標を意識し、守っていけるようにするには？を考えていく。その為に、定期的な目標確認をおこなっていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	作品掲示は継続させていき活動を知ってもらえるよう工夫していく。また花壇等を利用し花を植えていく。整理整頓は継続していき訪問しやすい空間づくりを目指す。	室内への飾り物を増やしたり玄関先への作品も行っている。花壇へは、チューリップを皆さんで植え育て上げました。室内が少しでも見えるようにサンルームもできる限り開けています。	外から中が見えたことがあった。飾り付けも見ることが出来ました。中々、伺って事業所内を見る機会がなかったです。	使用するものの優先順位をつけ不要な物の処分をおこなっていく。事業所内の宣伝を掲示板などを使ってアピールしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	カフェや地域の活動に積極的に参加出来るように計画していく。積極的に挨拶をおこなっていき関係性を築いていく。	出来るだけ参加してきてきたが、現在は中々参加できていない。会った方には必ず挨拶をおこない近況等を伺ったりしている。介護職員も参加機会を増やしていく。	カフェや地域の行事で話す機会がありました。事業所の話を聞かせていただいたり色々な話が出来ました。今後こういう繋がりがあると相談するのが安心です。	地域の活動などは各々が意識を持って積極的に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	パンフレットの工夫、アピールを継続していく。またその中でも地域の出席可能な会には参加させていただき顔を覚えて頂く。	パンフレットも新しいものに変更している。地域の会議にも参加させていただき事業所の紹介も行ってきた。ただ、もう少し伝え方、魅せ方の工夫が必要だと感じた。	事業所の紹介をしていただきました。違う会議とかでも介護保険の事など全然わからないことがあるので勉強会をしてほしい。紹介をしてもらっても仕組みが中々わからない。そういうのも教えてほしい。	事業所職員の行事への積極的な参加、質問に受け答えできるように研修を充実させていく。その中で1個でも不安が解決できるようにしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	新しい情報を収集した後必ず他の職員全員で共有できるようにしていく。困難事例等あればまずは事業所で意見を出し合いその後推進会議等で助言を頂きながら解決できるようにしていく。	情報の発信に関して、知り得た情報は発信できているが各々の落とし込みが不足している。当事業所に関しては困難事例で問題提起するような事例はなかったが、他事業所での困難事例のケースがあり検討する機会があった。	地域でも困っている方は沢山居るように思います。誰にどういう相談をしたらいいかわかりません。会議で相談できるのはいいですね。また何かあった時は相談させてほしいと思います。	会議で困難ケースだけでなく行事や事業所の事をもっと伝えていけるようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練において、マンネリ化しないように今必要な訓練を回数行えるように計画していく。備蓄品の確認は担当を含め、全員が把握できるようにしていく。事業所内外の訓練には必ず参加していく。	法人でおこなう訓練には参加できている。事業所でも避難訓練をシナリオ無しでおこなった。課題の洗い出しをおこない改善も必要。机上訓練の回数を増やし知識をつけていくようにしていく。	防災意識向上は、地域の方との連携が必要になってきますね。今後、交流していき顔見知りになればと思います。地域の訓練は現状、集まりが悪くみんなで行えない。	法人内の訓練とは別に備蓄や連絡方法など机上訓練を充実させていく。